秋の仏事

お彼岸

お彼岸には家族そろって
お墓参りをし、
故人、ご先祖様を供養しましょう

お彼岸は春と秋の年二回あり、それぞれ中日に当たる春分の日は「生物をたたえ、自然をいつくしむ日」、秋分の日については「先祖を敬い、亡くなった人を偲ぶ日」として、国民の祝日になっています。

寺院では、この期間に『彼岸会』または『お彼岸』といわれる法要を行い死者の供養を行いますが、この行事は日本独特のもので、インドや中国では行われず、日本では平安京を開いた桓武天皇の時代に始められたといわれ、この期間、仏様の供養をすることで極楽浄土へ行くことができると考えられています。

お彼岸の期間は毎年変わりますが、二〇一七年の秋彼岸は九月二十日が彼岸の入り、中日は九月二十三日、彼岸の明けが九月二十六日となります。

お彼岸を迎えるにあたっては、まずお仏壇と仏具の掃除をしましょう。また、宗派にもよりますが、お寺や墓地管理者に卒塔婆も頼んでおきます。

そしてこの期間中には、家族そろってお墓へ赴き、掃除をしてお線香を焚きます。お供えものとしては、故人の好きだったお菓子や果物などがよいでしょう。

お墓に着いたら、墓石に水をかけて洗い流し、水鉢や花立て、香立てもていねいに洗い、墓石の彫刻部分などはブラシで細かい汚れを落とします。洗い流したらタオルなどで、水気をきれいに拭き取ります。またお墓参りだけでなく、お寺の法要にも参加してご先祖様を供養し、日頃の感謝の気持ちをお伝えしましょう。

平成二十九年
秋のお彼岸

お彼岸の期間は、秋分の日を中日として
前後3日間を合わせた7日間です。

《彼岸の入り》9月20日（水）
《彼岸の中日》9月23日（土）（秋分の日）
《彼岸の明け》9月26日（火）

お彼岸については大野屋のホームページでもご紹介しております。
「大野屋　お彼岸」で検索

●お盆「地方の風習」『彼岸の道つくり』（奈良県山辺郡山添村）

日頃の感謝を込めて、村総出で道をきれいに清掃

奈良県の北東端、三重県との県境に位置する高原の村『山添村』では、春秋のお彼岸の時期に、『道つくり』と呼ばれる共同の清掃作業を行う習慣があります。これは県道、村道、農道、里道といった区別をすることなく、ほとんどの大字で行われるもので、各地域総出で早朝からスタート。およそ二時間ほどもかけて、道路周辺や墓地の草を刈り、落ち葉を掃き、道路の補修なども行います。

これは日々の暮らしを支えてくれる道への感謝、また先祖の供養、彼岸に帰省する人たちを気持ちよく迎える気持ちも込めて、「地域の道は自分たちの手で」という気持ちから生まれたもので、この美しい風習は、大阪や京都、岡山、福岡、長崎壱岐など、西日本各地でも見ることができます。

地域住民総出で春秋のお彼岸に「道つくり」が行われます。別名「出合い」とも呼ばれています。

取材協力／奈良県山辺郡山添村役場　農林建設課

お客様から大好評！　もしも会員特典

家系図作成サービス

大野屋では、「もしも会員」向けサービスのひとつとして「家系図作成サービス」を提供しています。家系図を作成するのは、人気ドキュメンタリー番組での制作協力実績などもある株式会社トラディション・ブルー。今回、代表取締役・奏政雄さんにお話を伺いました。

「家系図作成サービス」を始めたきっかけは何だったのですか？

私が三二歳の時に、懇意にしていた叔父が突然亡くなりまして、死とは、生とは何か、ということを深く考えさせられるきっかけとなりました。その過程で気づいたのは、『人が生まれ、死んでいくというのは、過去から現在、そして未来へとつながる命のリレーをしている』と言えるのではないかということです。親から子へ、子から孫へと連綿と続く命のリレーは、人と人のつながり、絆そのものでもあるわけであり、そうした人と人のつながりに関わるような事業、また、いろいろな方の生きた証を残すお手伝いができないかと考えた時にたどり着いたのが**家系図作成サービス**でした。

株式会社トラディション・ブルー
代表取締役奏政雄さん

「家系図作成サービス」を利用されるのは、どんな方でしょうか？

年代で言うと五〇代以上の方に多くご利用いただいており、きっかけになるのは、やはり身内の死が多いように見受けられます。ですから、この度、大野屋様が「もしも会員」の皆様に向けて家系図作成サービスを特典の一つに加えられたことは、とても意義のあることだと思っています。

家系図作成にもバリエーションがあるのでしょうか？

大きく分けると、**東洋家系図と西洋家系図**があります。「家系図」と聞いて、多くの方がイメージされるのが東洋家系図で、樹形図のような形でまとめられるものです。これに対し西洋家系図は、現在の自分を始点として、円形に外側に広がっていく家系図です。また、ご先祖をどこまで遡って記述するかによって、**一般家系図と本格家系図**というバリエーションもご用意しています。一般家系図で明らかになる代数は平均四～六代、約一五〇年前まで。一方の本格家系図は、役場に残る戸籍よりも古い時代まで遡るもので明らかになる代数は七代以上、約三〇〇年にも及ぶこともあります。

家系図を手にした時のお客様の反応はどのようなものでしょうか？

ほとんどの方に喜んでいただいております。普通、ご自身が把握している親族と言えば、せいぜい子ども・自分・親・祖父母の四世代くらいだと思いますが、家系図を見てみると、自分の知らない、たくさんの人が載っているわけです。驚嘆されるとともに、冠婚葬祭でしか顔を合わせないような親戚との関係がはっきりし、連綿と繋がる家族の絆に感嘆しつつ、家族共通の新しい話題に花が咲く、という光景もよく見られます。そうした瞬間に立ち会えることが、この仕事のやりがいです。

本格家系図イメージ

●一般家系図作成の場合の費用●
額装：通常価格120,000円（税別）
掛軸：通常価格150,000円（税別）

資料無料贈呈

家系図作成サービス
パンフレット

家系図サービスの詳しいパンフレットを無料で贈呈しております。ぜひお問合せください。